

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社を取り巻く市場環境は、中国を中心にアジア経済の成長鈍化がみられましたが、国内では一部に弱さがみられたものの設備投資における持ち直しの動きがあり、また米国・欧州で回復基調が続いたこと等を背景として、全体としては緩やかな回復となりました。

当上半期決算においては、売上高、営業損益、純損益ともに前年同期を上回り、営業損益、純損益は、過去最高を更新しました。

当年度は、「2015年度中期経営計画の完遂」「次期中期経営計画に向けた成長戦略の推進」を基本方針に掲げ、全社員が参加する「Pro-7活動」により「収益力のさらなる強化」を推し進めています。成長戦略の一環として位置付ける「海外事業の拡大」では、これまで進めてきたM&Aや新工場の立ち上げが売上拡大に寄与し、成果として現れてきています。

当社は、株主の皆様とのコミュニケーション活動を重視しており、今年度も「工場視察会」に対し、多数のご応募をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

引き続き、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

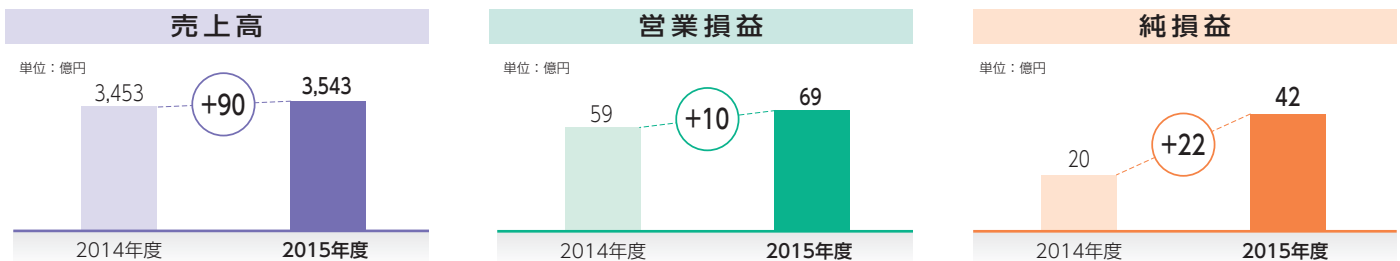
2015年11月

富士電機株式会社  
代表取締役社長

北澤通宏



## 2015年度 上半期決算



### セグメント別状況

	売上高			営業損益		
	2014年度実績	2015年度実績	増減	2014年度実績	2015年度実績	増減
発電・社会インフラ	614	707	93	0	14	15
産業インフラ	695	677	△17	△22	△31	△8
パワエレ機器	888	952	64	13	21	9
電子デバイス	651	632	△19	37	49	12
食品流通	610	561	△48	50	33	△17
その他	297	314	17	10	11	1
消去または全社	△301	△301	0	△27	△28	0
合計	3,453	3,543	90	59	69	10

※2014年度上半期実績は、2015年度の事業組替を反映し、表示しています。

**売上高** 前年同期に比べ  
**90億円増収の3,543億円**

売上高は、需要増に加え、円安に伴う為替換算差による増収効果もあり、前年同期に比べ増収となりました。

セグメント別には、発電・社会インフラは、発電プラントにおける案件増加およびスマートメータの増加により増収となりました。産業インフラは、変電において国内大口案件の減少により減収となりました。パワエレ機器は、国内でインバータ・サーボ、回転機の需要が堅調に推移したことに加え、鉄道車両用電機品の海外大口案件、および新規連結となった富士SMBE社による売上増等により増収となりました。電子デバイスは、半導体における中国市場の減速による需要減少、および工作機械を中心とした国内主要顧客の需要減少により減収となりました。食品流通は、自販機が中国市場で拡大したものの、国内向けで需要が減少し、さらに店舗流通で冷凍・冷蔵設備の需要減少により減収となりました。

**営業損益** 前年同期に比べ  
**10億円増益の69億円**

営業損益は、コストダウン、固定費削減等の効果により、前年同期に比べ増益となりました。

セグメント別には、発電・社会インフラ、パワエレ機器は、売上高の増加および原価低減の推進により増益となりました。産業インフラ、食品流通は、売上高の減少等により減益となりました。電子デバイスは、半導体が売上高・生産高の減少により悪化した一方、ディスク媒体が売上高の増加、固定費削減により改善し、増益となりました。

**純損益** 前年同期に比べ  
**倍増の42億円**

純損益は、受取配当金の増加等による営業外損益の改善および投資有価証券売却益の増加等による特別損益の改善により増益となりました。

## 2015年度 通期業績予想

単位：億円

	売上高	営業損益	純損益
2014年度(実績)	8,107	393	280
2015年度(予想)	8,500	450	290

### セグメント別通期予想

	売上高			営業損益		
	2014年度実績	2015年度予想(10/29)	増減	2014年度実績	2015年度予想(10/29)	増減
発電・社会インフラ	1,692	1,788	96	78	94	16
産業インフラ	1,914	2,127	213	111	130	19
パワエレ機器	2,009	2,185	176	76	96	20
電子デバイス	1,372	1,241	△131	81	86	5
食品流通	1,191	1,236	45	85	85	0
その他	612	615	3	19	21	2
消去または全社	△683	△691	△8	△57	△61	△4
合計	8,107	8,500	393	393	450	57

※2014年度通期実績は、2015年度の事業組替を反映し、表示しています。

※前提為替レート 1ドル=115円、1ユーロ=125円

## 中間配当

1円増配の1株当たり5円としました。

安定的かつ継続的に実施することを基本とし、連結業績、今後の成長に向けた研究開発や設備投資計画および経済環境等を総合的に勘案し、前年同期に比べ1円増配の1株当たり5円とさせていただきます。

なお、期末配当は、下半期の動向を見極め決定します。

### トピックス

## 海外事業の拡大

## TOPICS



富士電機では、海外事業の拡大に向け、商流・人材の獲得を狙いとしたM&A実施、および海外におけるものづくり力の強化、地産地消を推進しています。今回は、上半期に実施した米国での取り組みをご紹介します。

### 米州・発電プラントサービス会社の買収



2015年8月、市場規模の大きい米州で、数多くの実績を持つ火力発電プラントのサービス会社であるRTS Holdings社を買収しました。米州における発電プラントのサービ

ス事業を拡大するとともに、技術・ノウハウを蓄積し、アジア・中東等、他地域に展開していきます。

#### 【RTS Holdings社の概要】

- ▶会社名：Reliable Turbine Services LLC
- ▶所在地：米国ミズーリ州サリバン
- ▶設立：2015年8月
- ▶出資比率：富士電機アメリカ社100%
- ▶事業内容：蒸気タービン・発電機および周辺機器の修理・補修

### 北米・パワエレ機器の工場立ち上げ



2015年4月、米国バージニア州にパワエレ機器の生産拠点を立ち上げました。自社工場によるインバータ盤の設計・組立により、従来の工程を半分にして出荷しています。

また北米での需要伸長が期待される鉄道車両用電機品においても、生産開始に向けた準備を進めています。

#### 【バージニア工場の概要】

- ▶所在地：米国バージニア州ロアノーク
- ▶操業開始：2015年4月
- ▶事業内容：インバータ盤、鉄道車両用電機品(補助電源装置)の製造



## 皆様のご応募ありがとうございました

- ▶富士電機レポート2015
- ▶2016年版 当社オリジナルカレンダー

多数のご応募をいただき、厚く御礼申し上げます。  
カレンダーをご請求いただいた株主様には、11月より発送しております。2016年は「風光明媚—かけがえのない日本の自然」です。

会計基準の改正に伴い、従来の「当期純損益」は「親会社株主に帰属する当期純損益」へと表現が変わりましたが、本報告書においては「純損益」と表記しています。

本報告書の将来についての計画や戦略、業績見通しに関する記載は、作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づくものであり、実際の結果とは実質的に異なる可能性があり、当社はこれらの記載のうち、いかなる内容についても確実性を保証するものではありません。

**富士電機株式会社**

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号(ゲートシティ大崎イーストタワー) 電話 03-5435-7111 <http://www.fujielectric.co.jp>